

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024 年 8 月 7 日

テーマ「国連・国際機関との連携強化」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)国際連携機構長 成田 静香
(国際連携機構)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略（テーマ名）	統轄部署
1 学士課程教育	(7) 国連・国際機関との連携強化	国際連携機構
内容		
本大学は、国連・国際機関と協同して多様な教育プログラムを構築してきた。国連・外交統括センターを設置して「国連・国際機関の職員を輩出する包括的なプログラム」として大学院の副専攻「国連・外交コース」、学士課程の副専攻「国連・外交プログラム」等を推進するとともに、同センターの下で関西学院大学国際機関人事センター、国連グローバルコンパクト支援関西学院大学センターを運営している。また、国連ボランティア計画（UNV）と連携した国連ユースボランティア（UNYV）の実施、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と協力しての難民学生の受け入れ、国連セミナーや国連・外交フィールドワークなど、連携したプログラム・事業は数多い。 大学院副専攻「国連・外交コース」は 2025 年度の運用をもって終了し、同年度から開始予定である総合政策研究科が提供する大学院副専攻「国連システム政策」に引き継ぐ。学士課程の副専攻「国連・外交プログラム」は、2025 年度より募集人数を 20 名から 30 名に増加し、カリキュラムも改善する計画である。 国連は地球温暖化、貧困、格差など 17 分野にわたる SDGs の取り組みを進めており、本大学も国連との連携を一層強化し、スクールモットー“Mastery for Service”を実現する、世界・人類の課題に挑むグローバルリーダーを生み出すことで国際社会に貢献する。 【フェーズⅠの Total Review】 ・国連・国際機関等への職員応募資格は、大学院修了後 2 年以上の実務経験が必要となるため、長期的な視野で検証する必要がある。 ・国連・国際機関との連携強化は、SGU 採択期間を超えても継続する必要がある、安定的な運営や体制維持などが課題となる。 【フェーズⅡの Total Review】 ・本大学の特色を象徴するプログラムの一つとして、充実したプログラムを提供している。 ・プログラム提供に加え、国際機関人事センターにおけるキャリア支援の実施により、国連・国際機関等の職員輩出数の増加に繋がっている。 【フェーズⅢに向けた課題】 ・国連・外交プログラム（学部・院）修了者の進路実績等による成果検証の実施 ・ポスト SGU の国際化推進方針を踏まえ、国際ボランティアプログラムの推進戦略を検討。		

指標 1

指標	内容					
指標名	国連・外交プログラム修了者数					
定義・算式	国連・外交プログラム修了者数					
現状値 (指標設定)	15 人 (2023 年度)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	20 人		20 人		23 人	
実績値	2019 年度	1 人	2022 年度	17 人	2025 年度	
	2020 年度	13 人	2023 年度	15 人	2026 年度	
	2021 年度	15 人	2024 年度		2027 年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

提出日 2024 年 8 月 7 日

テーマ「国連・国際機関との連携強化」

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)国際連携機構長 成田 静香
(国際連携機構)

指標 2

指標	内容					
指標名	協力機関の数					
定義・算式	協力機関の数					
現状値 (指標設定)	22 件 (2023 年度)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	22 件		24 件		30 件	
実績値	2019 年度	23 件	2022 年度	25 件	2025 年度	
	2020 年度	25 件	2023 年度	27 件	2026 年度	
	2021 年度	25 件	2024 年度		2027 年度	

指標 3

指標	内容					
指標名	国連・国際機関等の職員採用者数					
定義・算式	国連・国際公共分野の職員採用者数 * 内容は SGU の定義と同じ。ただし、2023 年以降も継続する内容のため文言修正。					
現状値 (指標設定時)	16 人 (2023 年度)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	11 人		15 人		15 人	
実績値	2019 年度	11 人	2022 年度	11 人	2025 年度	
	2020 年度	10 人	2023 年度	16 人	2026 年度	
	2021 年度	16 人	2024 年度		2027 年度	

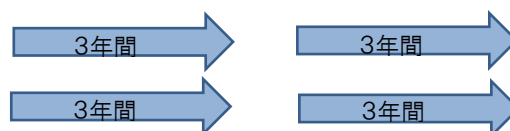
2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究 科での 取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	「国連・外交コース」(大学 院)の運営	国連・外交 統括センタ ー	必要なし	3年間			3年間			③へ統合		
②	「国連・外交プログラム」 (学部)の運営	国連・外交 統括センタ ー	必要なし	3年間			3年間			③へ統合		
③	国際協力・国連分野等の事 業の推進	国際連携機 構	必要なし	3年間			3年間			3年間		
【備考欄】												

※想定される実施計画の例示

- ①. 一貫教育における国連関連プログラムの構築
- ②. 学院全体での SDGs の推進

※ロードマップ策定作業用記号



I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「国連・国際機関との連携強化」

提出日 2024 年 8 月 7 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

国際連携機構長 成田 静香
(国際連携機構)

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019 年度～2027 年度)

◆フェーズⅠ：2019 年度～2021 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022 年度～2024 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022 年度	2023 年度	2024 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025 年度～2027 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019 年度	
2020 年度	
2021 年度	
2022 年度	
2023 年度	■「国連・外交コース」(大学院)の運営 2023 年度の履修者は 9 人で (4 月入学の履修者は 7 人、9 月の秋学期入学の履修生 2 人)、2023 年 9 月には 2 人、2024 年 3 月には 8 人の国連・外交コース修了生を輩出した。学内外の関係機関等の協力を得て国連・国際機関等への輩出者 16 人を把握した。うち 1 人は国連・外交コース生であり、JP0 に合格した卒業生 1 人も含まれる。 ■「国連・外交プログラム」(学部)の運営 第 7 期生 (2023 年度入学生) 25 人を 31 人の志願者から選考した。第 4 期生 (2020 年度入学生) 20 人のうち、3 人が卒業延期を選択したが、他は 15 人が修了した。 ■国際ボランティアプログラムの推進 2023 年度春学期派遣生は 17 名の志願者から 8 名を選考し、秋学期派遣生は 33 名の志願者から 16 名を選考した。
2024 年度	
2025 年度	
2026 年度	
2027 年度	